

研究タイトル：

絵本を使った英語の指導

氏名：	村上真理／MURAKAMI Mari	E-mail：	murakami@numazu-ct.ac.jp
-----	--------------------	---------	--------------------------

職名：	准教授	学位：	教育学修士
-----	-----	-----	-------

所属学会・協会：	全国高等専門学校英語学会，関東甲信越英語教育学会
----------	--------------------------

キーワード：	自然言語処理，読書指導，読み聞かせ，英語教育
--------	------------------------

技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の絵本の選び方 ・絵本の読み方のポイント・勘どころ ・絵本の読み聞かせの仕方・アイデア ・語学学習方法
-----------------	---

研究内容： 英語教育，国際化教育，児童文学翻訳，読み聞かせ，読書指導

技術分野： 人文・社会

読むことは人間にとって欠くことのできない生きるための営みです。また同じ本であっても読み方によっていろいろな伝え方があります。そして読み手の価値観や好みによって読み方も変わります。そうして私たちは本の世界に見る非日常的な出来事などに自分の生き方や価値観、生ける者への思いやり、感情の機微などを感じ取ってゆくのでしょう。

「読み聞かせ」(あるいは「語り聞かせ」)は読み手と聞き手がともに自由な発想や想像の世界を楽しむことができる、心を動かされたり生きる事のすばらしさに触れる機会であり、本来は一人の作業である読書というものに血を通わせる方法であると思います。

「読み聞かせ」には絵本を多用します。絵本は文字通り絵がある本ですが、これが絵本の特性「わかりやすさ」であり、ページをめくるたびに絵の語りかけてくる言葉が作品を理解しやすくしています。そして短いけれどもそこにある文はまた含蓄ある言葉であったり、自然でありながらすばらしい表現力を持っています。

そしてこのような絵本の特性と「読み聞かせ」の持つ力は英語の絵本にあっても変わることは無いと思っています。

絵本を取り入れた読書活動を通して、自ら本に手を伸ばして一人で読んでゆこうとする読書意欲、そして感動する心を育くませる指導を目指しています。

研究者 PR・自己紹介

・英語教育・国際化教育

様々な場面で英語を使うことが増えています。また、会社や社会から英語力のニーズも高まっています。TOEICなどの資格試験を含め、社会に出てから応用できる基礎となる英語力を養う教育を目指しています。

・読書活動

本や読書を身近なものに感じてもらえる指導に取り組んでいます。読書は知識を得るためだけのものではなく、自分との対話・自己を見つめることであったり心の落ち着きや集中力を養う活動でもあるからです。

読み聞かせ活動においては聞き手の反応を見取りながら読み手の思いを伝えて、そこに生まれる読み手と聞き手の心の動きや変化に着目しています。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)